明日からの訪問に直結すること 間違いなしの１冊！

歯科衛生士のための訪問歯科ハンドブック
米山武義・篠原弓月　編著
B5 判/164 頁　定価 4,320 円：本体 4,000 円＋税
医歯薬出版（2018 年 9 月）

日本歯科衛生士会
評・久保山裕子（歯科衛生士）

歯科衛生士が元気になる本です

地域包括ケアシステムの実現に向け，歯科でも高齢者が地域で自分らしく生活できるように支えていく必要があります．いままで歯科診療室に来てくださった患者さんが通院できなくなったときには出向いていく必要があり，高齢者が増加していることを考えると，多くの歯科衛生士に訪問歯科に携わっていくことが求められています．そんななか本書が出版されました．

本書はいまから訪問歯科を始める歯科衛生士のための本ですが，最初に掲載されている米山先生と４名の歯科衛生士の座談会は，「歯科衛生士はすてきな職業だ！」と感激し，あっという間に読み進んでしまいます．それは個々の歯科衛生士の思いや人間力はもちろん，高齢者の生活を支えることができる職業だと再認識させてくれるからだと思います．

訪問歯科をシミュレーションできる本です

実際に訪問歯科を始めるときに必要なことが多く書かれている本書ですが，まず，マナーや注意すべきことなど心構えから知ることができます．そして基礎知識については，口腔のことから全身まで現場の視点で重要なポイントがわかりやすく簡潔にまとめられているのでビギナーにもってこいです．また，実際の訪問診療場面が写真つきで解説されているのでイメージしやすく，診療室との違いも理解できます．

歯科衛生士が単独訪問する際に把握すべきことや確認しなければならないポイントが写真やイラストで理解しやすくなっています．口腔衛生管理の箇所では口腔清掃手順がステップごとに説明され，報告書にどのようなことを書くのかも記載されています．低栄養や脱水の確認方法も具体的ですぐに実践できそうです．また，口腔機能の重要性についても書かれているので，歯科衛生士は口腔衛生管理と口腔機能管理の両面からアプローチするのが大切だということもわかるでしょう．

さらに，歯科衛生士にかかわる制度や他職種の役割についても書かれているので，チームとして要介護者に携わる重要性も知ることができます．

訪問場面を見学しているようです

はじめて訪問するときは不安に思うことも多いと思います．その理由の１つは，高齢者が生活している場に行くという経験がないため現場の想像がつかないからかもしれません．本書では５つの事例があり，いっしょに訪問歯科に出かけて見学しているように感じることができます．またＱ＆Ａには皆さんが聞いてみたかった質問の答えがきっとあります．ぜひ読んで，訪問歯科を始める勇気をもらってください．